

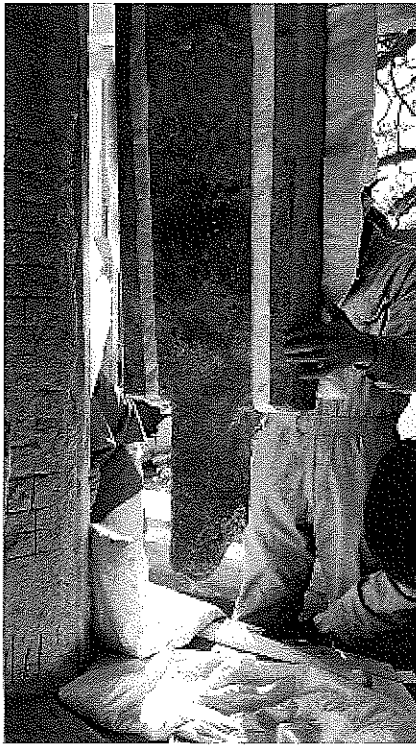
国宝「六面石幢」修理、移設事業の経過について

事業者 宗教法人玄武山普濟寺

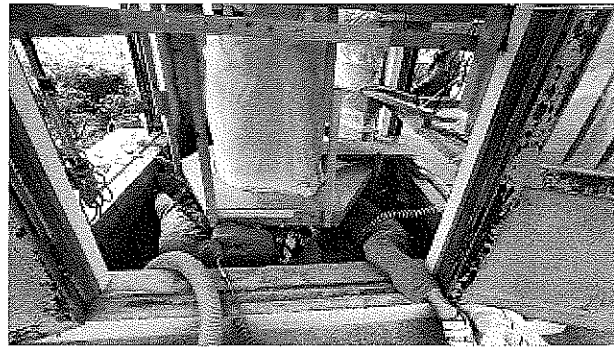
事業内容 ・普濟寺所有の国宝「六面石幢」を解体、京都工房に運搬して保存修理を行う〔修理事業〕
・普濟寺敷地内に新保存庫を建設し、保存修理後の「六面石幢」を移設する〔移設事業〕
・国及び都の補助事業として行い、市も補助金を交付する。

令和3年度の事業

- 修理事業 昨年度休止した作業の再開、幢身（どうしん）5枚の解体と京都修理工房への搬送
解体作業期間 令和3年9月7日から12月24日まで
*国宝を構成する台石を現地に残し、笠石と幢身6枚は修理工房に搬入



幢身の取り外し作業



幢身の地下、台石直下での解体作業



幢身5枚の検品作業（修理工房への運搬前点検）

- 移設事業 国宝新保存庫の建設開始
工期 令和3年11月から令和4年12月（予定）
- 補助金 国：国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金
都：東京都文化財保存事業費補助金
市：立川市文化財保護事業費補助金

令和4年度以降の事業

- 修理事業 令和4年5月から6月 台石（基礎石）を解体、修理工房へ搬送
以降令和6年度まで修理作業を実施〔文化庁の修理指揮監督により、工期を令和5年度末から令和6年度末への計画変更〕
- 移設事業 令和4年12月 国宝新保存庫「(仮称)六角堂」の竣工
令和6年度末 新保存庫に国宝「六面石幢」を再設置